

立ち読みPDF

安達元一著 Motoichi Adachi

新「伸びる人」の条件

Forest
2545
Shinsho

facebook



Wordpress



LinkedIn



まえがき

フェイスブック、
ツイッター…
ソーシャルメディア
時代突入！
「伸びる人」の
条件は変わった！

Twitter



Myspace



Ping.Fm



mixi



foursquare

↑ まったく通用しなくなった！

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。

私はテレビ業界で25年に渡り仕事をしてきました。また、本の執筆、WEB放送局の運営、映画の企画、企業のセールスプロモーションのお手伝いなど、あらゆるメディアに関わってきました。

特に、芸能界というこの世で最も過酷な競争社会との関わりも深く、人の浮き沈みを多く見てきました。

自分でも「よくここまで生き残れたな」と本当に思うほど、多くの人たちが業界から去っていきました。私がここまでこれたのは、運もありますが「時代の変化」にいち早く気づけて来たからだともいえます。

そんな私が最近感じるのが、

「今までの方法が効かなくなつた」

ということ。また、私はマスコミをはじめ多くの企業の方とも付き合いがあります

が、彼らも、

「今までのマーケティングがまったく通用しなくなった」

と嘆いています。

実際、従来のように多額の広告費を投じてテレビCMを打ったり、キャンペーンをやってもまったくモノは売れなくなりました。どんなに、お客様の声を集めても、どんなにマスコミに取り上げられてもモノは売れなくなりました。

よくよく考えてみると、これは当然だと思えます。昔のようにテレビだけが娯楽の時代ではなく、今やインターネットをはじめあらゆるメディアがあります。

テレビからインターネットへ、人々の興味が本格的に移行し始めたのが10年ほど前でしょうか。その後、順調に勢力を伸ばしてきたWEBの世界も、ここ数年でさらに「時代の変化」が襲ってきています。

当初から、WEBの世界で君臨してきた王者は「検索」でした。テレビのように一方的に画一された情報ではなく、自ら望んで選び出す検索は、情報の価値を高め、私たちに新しい世界を開いてくれました。

そして時代は流れて、現在大きな転換期が訪れているようです。

それが「ソーシャルメディア」です。

検索の世界でも、SEO対策であまり有用ではない情報ばかりが目についたり、レビューサイトやランキングサイトでの情報操作が当たり前となったり、信用性が低下してきたのです。

そこで、多くの人が飛びついたのが、ツイッター、フェイスブック、といったソーシャルメディアではないでしょうか。検索で出てくる「ページ」ではなく、情報を発信している「人」を信用するようになってきています。そしてついには、グーグルの滞在時間をフェイスブックが抜いたという驚きのニュースまで飛び込んできました。

そんな新しい時代の覇者となりつつあるソーシャルメディアでは、何を発信しているかはもちろんですが、誰が発信しているかが重要になってきます。

今までは、一部のマスコミしか情報を発信できなかったのが、個人が情報を発信できるようになり、とてつもない情報量が氾濫する時代になったのです。

そして、その中には「あなた個人」が重要なのです。大げさに言えば、あなた個人が、かつてのマスメディアをも凌駕する情報の発信主にもなれる時代なのです。

↑ ソーシャルメディア時代で「伸びる人」

人々はマスコミ的な「上からの情報」には警戒心を持つようになりました。そして、信用できる友人、知人からの情報、その延長線上にある自分が信用できると判断した人が発信するソーシャルメディア上の情報を信じるようになっていきます。

こうやって人々の感覚が変わっていくと、当然、社会全体も変わってきます。iPodの出現によって音楽の聴き方が変わり、ライフスタイルが変わっていったように時代が変わってきたのです。

これが私を感じている「時代の変化」かもしれません。この時代を「ソーシャルメディア時代」と呼ぶならば、この変化の中で生き残っていくにはどうすればいいのかを本書で紹介できればと思います。

私は、この時代に生き残るには、

・仕事力

- ・人間力
- ・まとめ力
- ・コンテンツ力
- ・脳力

この5つの力がキーポイントだと思っています。

実は今までは、「その場その場をうまくやる力」「人間関係を広く作れる力」があれば、どうにか生き残れたのです。上司や取引先とうまくやるだけでなんとかなっただけです。さらに「会社の力」もあなたを助けてくれました。組織の一員でいるだけで、何となく渡りきれたことも多かったでしょう。

ところが、もはやそれでは通用しないのです。

会社を脱ぎ捨てても通用するあなた自身が問われる時代なのです。

5つの力がなければ、絶対に誰からも評価されなくなっていきます。それぞれの力についてひとつずつ軽く説明します。

・仕事力

あなた個人、仕事に取り組む姿が問われる時代です。最短努力で確実な結果につながる仕事術を手に入れる必要があります。今の会社が未来永劫えいごう存続する確約などない時代となりました。倒産もリストラも怖くない！ 組織に頼らず、あなただけで世の中のどんな荒波も乗り切っていけるブランド力をつけましょう。

・人間力

あまりにも情報が多すぎて、多くの人はそう簡単に情報を信じません。そんな時代だからこそ「信頼できる人」からの情報はとことん信じますし、「信頼できる人」はどんどん伸びる人になっていきます。あなたの「人間力」がすべてのカギとなるのです。

・まとめ力

これは会議などで場を回す力と言ってもいいでしょう。リアルな場でもWEBでも多くの人が集まる場所では、各自がバラバラの価値観、バラバラの情報量を持って集

まります。ですから、どうしてもその場を回す人が重宝されるようになります。

・コンテンツ力

これはアイデア力、ネタ力、企画力ともいえるでしょう。他人とは違った、あなたならではのアイデア、ネタ、企画、そして発想を持っていないと相手にされません。フェイスブックや、ツイッターでも、魅力的なコンテンツを発信できる人には、たくさんフォロワーが集まります。この力があれば、たくさん集まったフォロワーは、あなたの人生の応援者にもなってくれるのです。

・脳力

確実な結果を出すために、あなたの脳のポテンシャルを最大限に育て、引き出しましょう。眠っている脳を起こします。今までは結果は意外と求められなかったり、うやむやになったりでどうにか生きてきました。しかし、今は必ず誰かの目が光っているのです。だから、結果を出すことが重要ですし、結果を出せば必ず誰かが見てくれるのです。

これからは、クチコミで話題になっていくような人間になっていかなければ、評価もされないのです。

多量の情報にさらされ、常に誰かの目に監視されているような時代だからこそ、この5つの力が重要なのではないのでしょうか。

それでは、これからの時代をとらえ、どんどんと、とどまることを知らず「伸びてゆくあなた」になるために、第1章からお読みください。

まえがき フェイスブック、ツイッター…ソーシャルメディア時代突入！

「伸びる人」の条件は変わった！……………003

第1章

新「伸びる人」の仕事力

→ 今すぐできる圧倒的な差を生むテクニク

- ↑ できない理由はいらない、できる方法を考える……………018
- ↑ できない理由を乗り越えたら、それをやる意味を理解しよう……………023
- ↑ 仕事のできる人とできない人の差は、たったひとつ……………027
- ↑ 成功体験を自分に刻みつける……………030
- ↑ 諦めるって素晴らしい！……………033
- ↑ 朝イチにメールをチェックしてはいけない……………037
- ↑ 落ち込み知らずの秘密の方法……………042

第2章

新「伸びる人」の人間力
 ↓リアルなフォロワーがいないと成功できない↓

- ↑ 知らないうちに人を引きつける魅力的な人間になる……………046
- ↑ ドMで仕事をする……………053
- ↑ 運が良い生活を送ろう!……………057
- ↑ 面倒なトラブルほど「伸びる人」になるチャンス……………066
- ↑ 自分の価値を下げない……………070
- ↑ 絶対に断らない……………077
- ↑ 他人と違うところを常に意識する……………084
- ↑ 「上司の心にそっと恩を売る」作戦……………090
- ↑ 勇気を持って、大衆に埋没しない……………093
- ↑ キラめく才能がなくても「伸びる人」になる方法……………096

新「伸びる人」のまとめ力

↳ 多くの人をまとめめる人がヒーローになる↳

- Ⓜ 会議で伸びる人になるたった2つのルール……………102
- Ⓜ 次元を上げると、あなたの発言は神の言葉になる!?……………106
- Ⓜ 会議の運命を左右する意外なキーパーソン……………112
- Ⓜ その席に座ったあなたは、もう死んでいる……………117
- Ⓜ 情報収集の時間ゼロで、アイデアの泉が湧く……………125
- Ⓜ 伸びる人の裏ワザ「虎の威を借る狐」作戦……………127
- Ⓜ 会議はしすぎてはいけない!……………129

新「伸びる人」のコンテンツ力

↳ ソーシャルメディア時代はネタ数の勝負↳

- Ⓜ 誰も思いつかなかった発想で「伸びる人」になる方法……………134

第5章

新「伸びる人」の脳力
 ↓成長し続けるための脳の使い方↓

- ↑ 常に他の方法を考える……………192
- ↑ 30の無駄なアイデアから、ひとつのキラめきが生まれる……………139
- ↑ 無限にアイデアを生む秘密の方法……………145
- ↑ 観察力と想像力を研ぎ澄ませ……………149
- ↑ 生理的に人の目を引いてしまう企画……………154
- ↑ 経験に勝るものはない……………159
- ↑ 時代の空気を読む……………164
- ↑ 企画を実現させる究極のワザ……………171
- ↑ 自分の手から離れた後に、育つてゆく企画、死んでゆく企画……………181
- ↑ 企画が死ぬとき……………184
- ↑ アイデアの正体を知り分析する……………187

- ↑ 脳を追い詰めたときこそ、脳力が発揮される……………200
- ↑ 自分の脳を信じて違うところを掘る……………205
- ↑ がっかりタイムを乗り切れ……………209
- ↑ ポストイットの壁があなたの脳に大連鎖を起こす……………212
- ↑ 脳のタイプを使い分けて企画を実現させる……………215
- ↑ 脳を活性化するための日常訓練……………222
- ↑ ジタバタする……………230